

# プレイバック 下水道展

## 「AM-Turbo」中心に提案 省エネ、LCC低減など実現

電 業 社  
機 械 製 作 所

電業社機械製作所は、「Passion for the Next Innovation～次なる革新への熱い思い～」をコンセプトに、アルミ合金インペラ採用多段ターボブロワ「AM-Turbo」をはじめとする製品・技術を提案した。

AM-Turboは、平成29年度優秀省エネルギー機器経済産業大臣賞を受賞した下水処理

用の新型ばっ気用多段ターボブロワ。アルミ合金インペラの採用により、回転体の大幅な軽量化を達成し、軸受負荷の低減により「すべり軸受」を「ころがり軸受」に変更でき、すべり軸受で必須設備の強制給油装置、冷却設備が省略できたことに加え、ブロワの最適化設計による高効率化を図った。これらの特徴により、多段ターボブロワの高い信頼性・制御性を維持したまま、省スペース化、メンテナンス性の向上、ライフサイクルコストの低減、送風機設備全体としての消費電力の大幅な削減などを実現している。現在、製作中のものを含めると15機場、38台の実績がある。

ブースではAM-Turboのほかにも、ゲリラ豪雨対策技術である歯車減速機搭載型立軸一床式ポンプ「ラムダー21」、渦流防止装置やポンプの状態監視・診断技術などをPRした。



ポンプの状態監視・診断技術などのPRも